



# せせらぎ



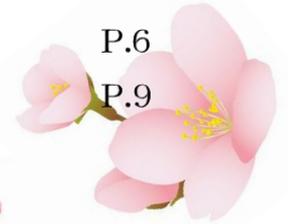
No.357



2019年4月  
滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

## 目次

1. 表紙とメッセージ	P.1
2. 私のひとりごと	P.2
3. 4月例会山行案内 【吉野山】	P.3
4. 4月例会山行案内 【伊吹山北尾根】	P.4
5. 2例会山行報告 【明神平】	P.5
6. 2例会山行報告 【岩籠山】	P.6
7. 2月山行記録	P.9



## 今後の予定

1. 3月24日(日) 岳友会総会 定例会議 13:00～草津市民交流プラザ
2. 4月7日(日) 例会山行 【吉野山】
3. 4月21日(日) 例会山行 【伊吹山北尾根】

## 表紙からのメッセージ

### 残雪期の山

小窓尾根から北方稜線を経て劔岳へ。(写真は稜線上の「小窓ノ王」の北側)

アイゼンを効かせてクラスト状の雪を踏みしめ、春の柔らかな陽光を浴び、冷涼で新鮮な薫風を感じ、白銀の山岳風景を眺めながら雪の稜線を歩く。至福の時間です。

重い装備と滑落リスクの緊張感を背負い、死ぬほどしんどくても、Mではないかと疑われても、残雪期の山には山紫雪明の美しさと魅惑的な危うさがあります。



## 私のひとりごと

ネットで山行記事を読んで、「うわっ、この景色私も見てみたい！」となった。

って、初めての行くその山に関する記事をたくさん検索して読みまくる。特にGPSのデータがあるとありがたい。そして、果たして私の力でも行けるかな、遭難しないかなと思案しまくる。「ふ〜む、これなら大丈夫そう。よし、行ってみよう」万が一迷いしてピバークとなっても一晩ぐらいなら耐えうる装備と心構えを持っていざ！

これまで初めての山に単独では登った事がない。不安で押しつぶされそうになり、やっぱり怖いからやめようかな・・・と、登山口にたどり着いてもまるでまだぐじぐじ。

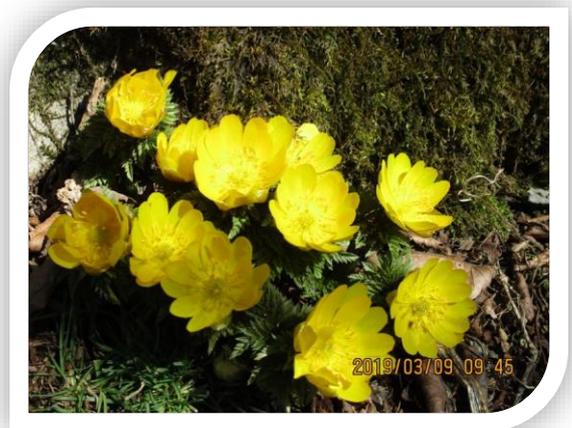
っと、颯爽に単独山ガールが「お先に♪」と笑顔で出発。これに背中を押された。よし！私も行くぞ！準備をしてたらまた登山者の車が到着。さすがこの時期は人気の山。今度は私が「お先に」と出発。ところ〜が、早速登山口がわからない〜〜〜。方向はこっちで間違いはない。この斜面を登るんやけど道はないの？と右往左往してたら、あとから来たご夫婦がさくっと山に入って行かれる。あっちから取り付くのか〜！あんなに昨日の晩地図とにらめっこしたのに・・・。先を行かれて悔しい〜。

すぐそのご夫婦に追いついてしまい、どうぞお先にと道を譲られ、仕切り直し。ポイントに着く。地図を見る。高度計で標高をチェック、次の方向へ磁石を合わせる。これの繰り返し。地形図通り広い尾根に出た。ネットの記事ではところどころテープがあるとあったが見当たらない。ムムム。道はどこじゃ〜。ま、この尾根を登ればいいのだからと道はないが磁石が指示す方向にガシガシ登る。っと、素晴らしい雰囲気のコルに出た！癒される〜〜。ここで寝ころがって昼寝したら気持ちいいだろうなあいう感じ。そして、目指す山頂をロックオン！山頂に着くと鹿の食害避けのネットがあちこちに。少し下山方向に進むとネットで見た眺望がバンッと目前に！この景色が見たかったのだ！！一人で来れた！

何ともうれしかった。っが、好事魔多し。ネット沿いに下山開始してどうも様子がおかしい。地図では南に進むはずが西に進んでいる。ネットに導かれてしまった。もう一度山頂に戻りきちんと磁石を合わせ。あ、リボンがある。ここかあ〜。そして、今回のもう一つの目的「福寿草」が満開で咲いている！こんなにたくさんとは。霊仙山で見た数の数倍ある。こりゃ人気のはずや。踏まないように写真に収め、さて下山。こちらの登山道は完璧に整備されていて登りの

時の様な緊張感は全くなし。ちょっと拍子抜け。あっと  
いう間に登山口に出たら廃村？の軒先や裏山にもたくさんの福寿草が咲いてるやん。でもやっぱり山頂直下で見た福寿草が愛しいのは私だけ？ここから先は駐車地までの長い林道歩き。ダラダラ退屈するかなと思いきや時折ガラガラと落石があって緊張感再びでした。駐車地に着いてやれやれ。あんなに不安で不安で仕方がなかったけれど無事に山行が終えられた達成感は何ともいえません。だけどやっぱり単独は寂しいな。そんな鍋尻山山行のひとりごとでした。

コース：アケンバラ〜鍋尻山〜保月〜権現谷林道で戻る



## 吉野山・桜山行

吉野山の桜（主にシロヤマサクラ）は山麓から順に下・中・上・奥千本と咲き上がりますが年により開花時期が 1～2 週間前後します。今年の実況開花時期はわかりませんが予め 2 コース設定しておきます。例年の平均的予報ではコース①で歩く公算大ですが、当日開花の状況を見てどちらかのコースに決めます。なお、表コースは混みあいますので、裏コースでいきなり上千本に登りつめます。

◎日時： 2019 年 4 月 7 日（日）（雨天中止の場合は前日 17：00 までにメールします）

◎集合場所・時間： JR 野洲駅 6：10、 湖南文化ホール 6：40、 南草津駅 6：30、  
最終集合場所 名阪国道・針テラス 8：00

◎コース①： 一目千本桜コース

針テラス 8：00⇒⇒大宇陀・瀧桜(又兵衛桜)⇒⇒9:30 宮滝・喜佐谷 9:40→→10:40 上千本(ぜんざい)11:10→→12:10 金峯山寺(蔵王堂) →→12:50 中千本(昼食)13:30→→15:10 喜佐谷 15:30⇒⇒  
針テラス⇒⇒18:00 湖南付近

一般向き 歩行時間 4 時間 00 分 歩行距離 9 k m

◎コース②： 上千本・奥千本桜コース

針テラス 8：00⇒⇒大宇陀・瀧桜(又兵衛桜)⇒⇒9:30 宮滝 9:40→→10:40 上千本(ぜんざい)11:10→  
→水分神社→→高城山→→金峯神社→→13:10 西行庵(奥千本・昼食) 13:40→(往路を戻る)→ 15:30  
上千本→→ 16:45 喜佐谷 17:00⇒⇒針テラス⇒⇒19:30 湖南付近

少しハード 歩行時間 5 時間 30 分 歩行距離 12 k m

◎持物：一般登山用具、500cc 湯、各自食器・箸（途中 ぜんざい準備・提供します）



☆マイカーで現地往復しますがマイカー提供可能者はその旨連絡ください。

☆申込先着順で受け付けますがマイカー提供数によっては途中締切の場合もあります。

☆体験山行・家族も受付可とします。

◎費用概算： 約 2500 円/人 （実費精算：マイカー代、駐車場料金、ぜんざい含む）

以上

## 4月定例会山行案内

# 花の伊吹北尾根 国見峠～御座峰<sup>こざみね</sup>

花の山、伊吹北尾根。花を見ながら尾根道を歩きます。この山域は積雪が多いので、残雪があるかもしれません。残雪の程度によっては、さざれ石公園からのコースに変更することもあります。

下山後は時間があれば、揖斐川町「天空の遊歩道」を散策します。

### 1 実施日 4月21日（日）

雨天中止の時は、前日18時頃までにメールします。

### 2 集合場所

竜王インター、セブンイレブン 7時00分

名神多賀SA 7時30分

### 3 行程

9:20 国見峠（846m）～10:30 国見岳（1126m）～11:10 大禿山（1083m）～

11:50 御座峰（1070m）（昼食）～13:00 大禿山～13:40 国見岳～14:30 国見峠

歩行時間 登り2:00 下り1:40

### 4 持ち物

通常山行用品

### 5 申し込み締切

4月11日（木）

### 伊吹北尾根ルート



1. 実施日: 2019年2月9日(土)～10日(日)

2. 参加者: 6名

3. コースタイム

2月9日

9:25 大又林道終点駐車場発

11:50 明神平

11:55 テント場着

2月10日

6:45 テント場発

7:30 明神岳

8:10 P1394

8:25～8:45 桧塚奥峰

9:05 P1394

9:50 明神岳

10:15～11:25 テント場

13:10 大又林道終点駐車場着



駐車場に全く雪がなく曇り空の中を出発する。

15分ほどすると細雪が降り始め、ザックカバーをつける。渡渉箇所が4か所あったが、備え付けのロープは振られるので頼らずストックを使った。スタートから1時間ほどで明神滝が現れ、そこでアイゼンを装着。足元も安定し、樹氷トンネルを楽しんでいたら間もなく明神平に着いた。

天理大学の山小屋から少し下りた樹林帯にテントを設営した。少しのペグと木の枝や石を使用。散策を予定していたが天候が悪くてテントから出ずに早々と食事、就寝。2日目はアイゼンを付けて出発。時折貴重な青空に歓声を上げながら目的の桧塚奥峰に到着。テント場へ戻るとき、先を歩いていた他の2人に付いて行ってしまったため、尾根を1つ進んで曲がってしまった。もとに引き返しテントを撤収して下山開始。登山口までアイゼンで下りた。

4. 一口感想

雪は少なめでしたが寒気の南下で明神平は白銀の世界。

−9℃、風速10メートル強のところもありましたが、桧塚奥峰までのスノーハイクは霧氷も素晴らしく綺麗でした。厳冬の台高山脈を満喫することができました。

この歳になって初めて明神平を訪れました。

初日は渡渉が4回ほどありましたが、慎重に渡れば大丈夫で、アイゼンを付けても却って岩が滑りにくいようです。

テント場は広々とした雪面で快適で、水場も5分ほどの所に流水があって助かりました。天気予報がクルクルと変わって、2日目はテント場からすぐに下山の可能性もありましたが、冬山としてはそこそこの天候に恵まれ、一時、青空も望めました。積雪はそんなになく、ワカンよりもアイゼンで快適に歩けました。桧塚奥峰からの帰りは、行く時につけたトレースが薄くなっており、1か所、右に降りる尾根を見逃しました。日帰りの人が多かったですが、上でテントを張る方がゆっくと楽しむことができますね。

1日目は天気があまりよくなくて、明神平に到着時は風も強くて思ったより寒さ厳しく、幕営後テントに引きこもってしまいどこにも行けず残念でしたが、2日目に桧塚奥峰まで足を延ばして素晴らしい樹氷の世界を楽しむことが出来、とても良かったです。

## 2月例会山行報告

### 岩籠山（福井県）765.2m

)

日時；2019年2月17日（日） 曇り

参加者； 計13名

行程；野洲駅7：00 米プラザ7：30

「ドライブインしのはら」傍の駄口登山口9：00発→岩籠山への標識10：00（休憩）→  
インディアン平原11：45（昼食）12：10発→岩籠山山頂12：30→インディアン平原12：50→  
岩籠山への標識14：05（休憩）→駄口登山口14：55下山する。

#### 報告

岩籠山は福井県敦賀市にある山、山頂からは360度の眺望があり敦賀湾、反対側には琵琶湖が見え、低山ながらも登りごたえのある山でした。

米プラザから国道161号線を、敦賀方面に1時間ほど走らせ駄口集落の先、左側に「ドライブインしのはら」があります。ドライブインしのはらの前（国道の右側）が、登山者用の駐車場で5～6台は停められます。登山口はドライブインしのはらの傍にあるので、国道を横断しなければなりません。トラック等の大型車も通っているため注意が必要です。

登山口からそこそこの急登が続きます、1時間ほど登ると岩籠山への標識が現れます、ここまでは雪はありません。10分程歩くと尾根に出ます。標高500m付近から雪があり、スノーシュー、ワカンを着けました。登山道の雪は締まっていたので、程々快適なスノーシューハイクが楽しめました。多少のアップダウンはありますが、広大なブナ林！！冬ならではの光景を楽しませてくれます。大きく斜面が崩落した箇所があり、脇を歩くときは近寄らないように。

ブナ林を登った先は、インディアン平原と称された、なだらかな起伏のある平原。所々に花崗岩の巨石が露頭しています。ここで昼食を摂った後、岩籠山山頂へアタックしました。

下山は同じルートで、予定時刻に下山しました。



【YAMAP 情報】

活動距離；6.5 Km 活動時間；6時間 高低差 592m 累積標高 701m

### 【一口感想】

名前は昔から知っていましたが、初めて登ることができました、  
標高のわりに手ごたえのある山でした、ありがとうございました。

前回と全く同じコースを歩く。前回はいつだったかと紐解くと7年前に自主山行で3月10日に10名参加。その内3名が今回も参加。メンバーは随分変わったなあと移り変わりを感じる。前回は春が近づいているのにスタート地点から雪はたっぷりインディアン平原までしか行けなかった。今回は麓から標高500mくらいまでは雪なし。温暖化の影響？だけど、今回の方がつらさを感じる。歳のせい？いやいや、もう少しがんばらねばと、弱気と強気が交錯する山登りでした。

「H30年に行った時のインディアン平原のイルカに見える巨石が記憶に残っていて、又会えて、嬉しかった！ 展望が良く、敦賀湾や敦賀市、山々が美しかったです。春の岩籠山の滝を見たりしながら、渡渉の道も歩きたいなあと思える低山なのに魅力ある山でした。

春から秋にかけて過去数回登った岩籠山でしたが、今回初めて冬山に挑戦しました。登山道の雪も程よく締まっており、久しぶりにスノーシュー歩きを堪能しあつという間のピークでした。また、期待していた8合目付近のブナ林、去年の巨大台風等の影響も全く無く、凛々しく美しい木肌で出迎えてくれました。

少し前に一人、綿向山に行ったとき青空に映える樹氷が素晴らしかった。だけど感動を共鳴する人がいないと喜びが膨らまない。今日の岩籠山は曇り空だけど、仲間と分かつ山は楽しさが倍增する。用意いただいたミルクティは心温まる格別の味、久しぶりに青空気分になった一日だった。

景色はぱっとしなかったが、自分にとっては脚を鍛える機会でした。

岩籠山は入会当初に登ったきりで約5年ぶりです。着ているものもスノーシューも以前と一緒、変わったのは年を重ねた事。それでも前よりは楽に登れて、年をとっても体力はついたんだと思う。お天気も今一つで、雪も少なかったけれど3年ぶりのスノーシューハイク、楽しかったです。登山口に仮設トイレがあり、登山届記入用に老眼鏡が置いてあったのはびっくりしました。人気の山なんですね。来冬はフカフカの雪の上を歩きたいと思いました。

ワカンとスノーシューのどちらを持っていくか迷いましたが、上りが楽そうなスノーシューにしました。ワカンに比べると歩幅が大きくて早く進めました。急登では踵を上げて歩くので足首の疲れが軽減されたように感じました。踵を上げ下げするレバーを手袋をはめた手で動かすのはやはり辛かったのでレバーを完全に下げ切らない中間のポジションにしておくことと便利なことに気づきました。急な下りは苦手でした。直進方向につま先を向けると、体のバランスを崩しそうになります。斜め下りや並行下りは

楽ですが、時間がかかります。直進で下るためには、慣れとぶれない体幹が必要だと思いました。

登り始めは雪がまったくなく、どうなるかと思いましたが、稜線付近はしっかりと雪があり、1年ぶりのスノーシューを楽しみました。スノーシューは登りで靴をかかとを上げられるので楽です。

## 2019年2月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
2/1 ~ 2/4	北海道 十勝岳周辺		1	3	
2/2	鈴鹿山系・能登ヶ峰		4		
2/2	綿向山		1		
2/2	台高山脈 高見山		1		○
2/2	比良山系 蛇谷ヶ峰		3		
2/2	伊吹山		1	2	
2/3	鈴鹿山脈 御池岳		2		
2/3	綿向山	例会	14		○
2/9 ~ 2/10	台高山脈 明神平～檜塚奥峰	例会	6		○
2/9	湖南アルプス 太神山 矢筈ヶ岳 笹間ヶ岳		1	1	
2/10	伊吹山 1377m		1		
2/11	明神平		1	1	
2/14	京都寺社巡り⑪		5	1	
2/16 ~ 2/17	奥美濃 大日ヶ岳		3	4	○
2/16	金勝アルプス		6		
2/16	比良山系 ・ホツヶ山		1	3	
2/17	岩籠山(敦賀)	例会	13		
2/20	奈良・高取山 584m		6	4	○
2/23 ~ 2/24	青葉山、大江山		5		○
2/23 ~ 2/24	南八ヶ岳 西岳～編笠山		2		
2/24	比良・武奈ヶ岳 1244m		6		○
2/24	津市、経ヶ峰		3		
2/24	ポンポン山		4	1	○

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。